ことばのおたより

一般財団法人　三宅医学研究所
てふてふ
令和4年 11 月

　色とりどりの落ち葉が舞い落ち、秋の深まりを感じる季節となりました。吐く息の色が白くなる日も、だんだんと近づいていますね。
　毎月のことばの教室では、笑顔でたくさん話しかけてくれる子どもたち。お口をたくさん動かして、更に表情豊かにおしゃべりできるよう、お手伝いしたいと思っています。

ことばや心の発達には、
いろいろな遊びや運動を通して
「体を作る」ことが土台になります。

　近年、生活様式の変化に伴い、日常生活の中で「しゃがむ動作」をする機会が減っていると言われています。上手にしゃがむためには股関節の柔軟性や、体幹の筋力、重心の移動に対するバランス能力などたくさんの要素が必要で、幼児期のうちに身に着けておきたい能力とも言えます。
　ドングリや松ぼっくり、落ち葉など子どもの興味を引くものが公園にたくさんある季節。ご家族で外に出かけて、しゃがんで、指先でつまんで、秋を楽しんではいかがでしょうか。

　11月のことばの教室では、「吹いて遊ぶ」をテーマに、ストローを吹いて遊びます。
　紙コップと繋がったストローに息を吹き込むと、むくむくと不思議なおばけが膨らみます。
　口の筋肉の発達や口や舌の動かし方のコントロールを身に付けられるよう、遊びの中で楽しみながら、発語や上手な発音に繋げていきたいと思います。